

こだま通信

47号



【編集】 特定非営利活動法人こだま

〒690-0048 松江市西嫁島1-1-19

☎&FAX 0852-28-8162

障害福祉サービスの現状から

障害福祉サービスの報酬改定は3年ごとに行なわれます。来年がその改訂の年にあたり6月から検討チームで作業が行なわれています。その作業で示された資料の中に、障害福祉サービスの現状と各サービスごとの現状を全国的な数字で示したものがありませんので紹介します。

障害者の総数は・・・

障害者の総数は、787.9万人で人口の6.2%に相当します。身体障害者が393.7万人、知的障害者74.1万人、精神障害者が320.1万人となっています。その中で障害福祉サービスを利用している方は、68.9万人となっています。

今の障害者施策は施設から地域への移行を推進していますが、今回の数字でも着実に施設入所者が減少していることが伺えます。施設入所者が平成17年では14.6万人だったのが、平成25年では13.3万人になっています。その一方でグループホームの利用者は、平成17年が3.4万人だったのに対し平成25年では8.7万人になっています。

また、予算の面では障害者自立支援法が施行され予算が義務的経費になったことから、平成17年には4312億円だったものが平成26年度は1兆374億円に増加しています。障害福祉サービスの一人当たりの費用月額、およそ18万円台になっています。

こだまが行なっているサービスの現状は・・・

○居宅介護

平成25年12月の時点で、障害者の居宅介護を行なっている事業所は全国で17,923事業所、利用者は146,404人となっています。居宅介護利用者の障害程度区分は、区分2・3の方が50%になっています。利用者の5割以上が50歳以上の方です。一人当たりの費用額は7万8千円程になっています。

○生活介護

生活介護の事業所数は8,303事業所、利用者は251,506人となっています。生活介護の事業は新体系移行が進んだ事もあって、利用者数、事業所数とも平成22年に比べて2倍近くにのぼっています。利用者の障害程度区分は、区分5・6の方が6割におよび、年齢では20～40代の方がそれぞれ20%を占めています。一人あたりの費用額は、193,889円になっています。

○就労継続支援B

就労継続支援Bの事業所数は8,359事業所、利用者は177,706人となっています。就労継続支援Bの利用者は、20～30代が25%となっていますが、60歳以上の方の利用も10%になっています。一人当たりの費用額は111,608円になっています。

こうして障害福祉サービスの現状を数字で見ると、あたりまえのことですが全国平均がこだまの事業にもあてはまるということです。報酬は全国共通ですので、支援の内容に地域差があってははいけません。事業者としては先進的な事業所に負けないような実践をしないといけないという事です。支援の技術や方法は、日々進化を遂げていきます。NPOこだまの各事業所では先進事例に学び、今後もより良いサービス提供ができるように覚悟を新たにしました。 【山田久】

生活介護

6月26日

第2回お笑い王座決定戦

梅雨の季節の雨上がりの日に、八雲町の平原公民館で、第2回お笑い王座決定戦がおこなわれました。前回優勝したチームほんそごに負けないように、試行錯誤を繰り返しながら、2週間前から打ち合わせにはいり、1週間前からは各チームが練習を開始しました。ボケ・つっ込みが入るチームや活動の様子を面白おかしく伝えるチームや一発ギャグをす



るチームがあったりと前回とはまた違う大会となりました。

この大会は1年前も同じ日に行われました。その日は初めてということもあって皆さんに迷惑をかけました。そして皆さんに助けられました。今回はそれ以上に頑張るぞと決意をもって臨みました。

朝早くから利用者さんと一緒に担当職員が準備をしました。会場の看板設置や、会場設営、机を片付け、椅子を並べたりと利用者さんもその時を楽しみにして、頑張って準

備にとりかかりました。

10時を過ぎたころからほんそごや、生活介護のみんなが会場に集まり始めました。10時40分に開会のあいさつでお笑いが始まりました。順番に各チームが自分たちのネタを披露していきました。



前はとても恥ずかしくて前に出ただけで何もできなかった利用者さんは、今回チームリーダー的な役割で会場を沸かせました。また、前回優勝を逃して悔しがっていた利用者さんも新たなネタを職員と考えてネタをすべて覚えて頑張りました。職員も2度目とあって緊張も少なく年上の職員をハリセンでおもいきり叩いていました。それがみんなにうけたのでおとがめは無しのようでした。(笑)

全員に言えることは前回よりも今回のほうが表情が良かったことです。職員はもちろんのことですが利用者さんも大きい声を出したり、座って人のネタを見て喜んだりと

とても楽しくできたと思います。



今回優勝したチームの利用者さんはよくそのネタを生活介護の場面や、車内でしゃべることがあります。つついこちらも一緒になって笑ったりするのですが、1か月経った今でも話すということはよっぽどうれしくて楽しかったことだと思います。

今回は第2回目ですが、このような楽しい表情を見させてもらおうと、やってよかった、また来年もやろう！という気になります。年に一度の行事として回を積み重ねて行きたいと思っています。





楽しかったお笑い王座決定戦

今回のお笑い王座決定戦で活躍した利用者の方に取材をしました。どちらの方もとってもいい表情をしていました。「お笑い」と一言と言っても、利用者さんがどうやったら喜んでもらえるのかを考えたとき、とても難しいものになります。利用者さんに笑ってもらうのではなく、利用者さんと一緒に楽しいものを作り、みんなに発表する。そして笑ってもらう。それが大事な気がします。

今回も沢山の収穫があったお笑い王座決定戦になりました。来年もがんばるぞ！！

チーム「黒なべ」のメンバーにインタビュー

今回の黒なべチームの漫才の出来はいかがでしたか？
⇒漫才は、思っていた以上にうまくできましたと思います。

これも皆さんの協力のおかげであると感謝しています。また、今回も大会委員長としてかわらせていただきましたが、昨年に比べると落ち着いてできたと思います。しかし、自分としてはもっともっと言葉の引き出しを増やして落ち着いて挨拶ができるようにしたいと思いました。そして、参加者の皆さんがとっても楽しそうに参加され、この大会を開催して本当に良かったと思います。



チーム「こだまの塩」のメンバーにインタビュー

お笑い王座決定戦はいかがでしたか？

⇒「面白かった」「楽しかった」

普段の会話では自分から話題をふってくる事がない方ですが、先日送りの車内の中で、「〇〇〇のいぬ！（伯方の塩のメロディーで言ってます。〇〇〇はある職員の名前です。）と突然言われました。本当に突然のことで、私はお笑いの時を思い出してつい笑ってしまいました。すると、「あ～田崎さん笑ってる～」と嬉しそうに言って、何度も言うようになりました。車内はもちろん、生活介護の活動の前後の余暇の時間や、作業の間でも言うようになりました。

た。一回目のお笑いでは、前に出て恥ずかしそうにしていたのですが、今回は自ら率先してネタの発表に参加していました。そして優勝！！トロフィーまでもらってとてもうれしかったのだと思います。普段の生活の積み上げで、環境に慣れたり状況判断が上手くできたりしてきているのだな、と嬉しくなりました。

【田崎 優】

あいワークに参加して・・・

7月2日(水)に開かれた、あいワーク(松江地区事業所説明会)に参加しました。市内の支援学校や支援学級が主催で、福祉事業所が集まり事業所の概要や利用に向けた相談に応じます。対象は、養護学校や特別支援に通う生徒さんの保護者向けです。こだまは1年ぶりに参加しました。毎年熱心なご家族さんが、市内の福祉サービスの状況を知るために、話を聞きにこられます。1人(1グループ)に対し10分程度しかお伝えする時間はありませんが、どの方も真剣に事業所の話に耳を傾けてくれています。

こだまへの期待と評価・・・

こだまのブースに来られた方は、すでに「こだま」の存在を知っている人がほとんどでした。利用希望が多いことや人気があるんですね・・・などなど、うれしいお言葉をいただく反面、いつもこのような話をきくと、日頃の姿勢をたださなくては、と感じてしまいます。

こだまのサービスを使っていない方からも、評価をいただくということは、今後もそうした地域のサービスとしての期待に応えていく必要があると思うのです。言葉でいうのは簡単ですが、こだまが今、そしてこれからも実際にほんとうに応えていけるように有言実行できるように、職員一丸となって取り組んでいかないといけないと感じます。

一方でなんとなくこだまは知っていても、実際のサービス内容や、制度との関連となると「よくわからないわ」と思われる方もいらっしゃいました。まだまだ情報発信の足りなさを感じます。

こだまの事業は・・・

今回お伝えしたのは、こだまは小さな事業所で小回りが効き、利用者ひとりひとりにていねいに関わることができるような職員配置や環境設定を大切にしている事です。通常の施設では1カ所である生活介護も、こだまでは実際には3つのグループにわかれて活動していることなどです。

同じ制度名の事業所でもそれぞれに特色があります。実態を知るためには、今回のような福祉事業所の説明会に出席したり、見学したりと直接関わってみる必要があります。就労Bにおいても、仕事の内容や取り組む形態も違います。

また、日中活動の利用についての問い合わせだけではなく、休日・余暇の過ごし方についての相談などもありました。成人になってからの余暇の過ごし方は大切です。できるだけそれぞれの状況にそったアドバイスになるように応えるようにしています。

事業所から伝えたいこと・・・

これまでのこだまでの実践から経験したこととして、保護者のみなさんに伝えたこととしてまとめました。①学齢期より、地域の福祉サービスとつながる必要性、その方を知っている、関わりがもてる人をつくっておくこと。たくさんつながりが大切であること。②いろんな事業所をみて、本人にあった場所を検討すること。実習や見学などで本人が穏やかに過ごせる場所であるか、本人が本人らしくいられる場所であるか、いちばん笑顔が出る場所ですごすことが大切であること。③相談支援事業が始まったことで、支援計画の作成や複数の事業者で情報共有をすることよになり、1カ所の事業所で完結することなく、幅広い視野で支援が地域で行われるようになったこと、などです。

現実には、選ぶほど事業所がない、各事業所も定員がいっぱいな状態になっている。そう嘆く声もありました。そうした声に応えるため、あらたな事業所づくり、社会資源が増えていく必要性を感じました。

【川上太郎】



ほんそご農園特集



ほんそごでは3年前より湖北ふれあい農園を借りて、本格的に畑作業をしていましたが、今年からは車いす用の畑を借りて農作物を育てています。以前借りていた畑より小さくなりましたが、車いすに座ったままで作業ができるので利用者の方にも土いじりがしやすくなりました。車いす利用者でなくても地面にしゃがんだり、中腰になったりしにくい利用者さんも、今の畑になってから積極的に草を抜いたり、作物の手入れをされる様になりました。



車いす畑初の作物は、ジャガイモとひまわりを植えました。

毎週草抜き、水やりに通い手塩にかけたジャガイモは、ひまわりと共に大きく育っていきました。成長を見守っていると…なんと土の栄養をたっぷりもらったひまわりが2m級の大きさに成長しました！！その横でジャガイモがひっそりと暮らしていました。収穫の時期になりテントの下でみんなでジャガイモを掘り出しました。次々と出てくるジャガイモに歓声が上がります。近くの畑のおじさんにも声をかけてもらったり楽しい収穫祭となりました。ひまわりと共に育ったジャガイモは黄色くてとってもホクホクしていておいしかったです。



今はモロヘイヤが大きくなるのを楽しみにしています。

作業をしていると、隣で作業をしているおじさんおばさん達が声をかけてくれます。



こうして、地元の人たちと触れ合いながら農作物を育てたり、収穫が出来る湖北ふれあいファームはとってもいい場所です。

これからも地元の人との触れ合いを大切にしながら、楽しい農園作業を続けていきたいと思います。

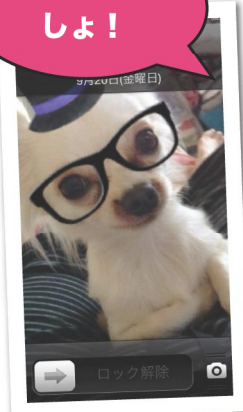
【池添純子】



我が家のペット自慢No.5

今回の我が家のペットは、橋本さん家の『キラちゃん、ココちゃん』です。

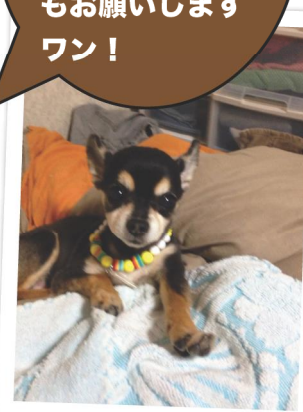
可愛い
しょ！



うちには、二匹の犬がいます。犬種はチワワで、キラちゃん（メス3歳）ココちゃん（メス4歳）です。性格は、キラは、知的でイタズラ好きの食いしん坊。ココは、臆病者の自己中で、食いしん坊であります。キラは心臓病を患ってしまして、服薬をしながら頑張っている。ココは元気ではありますが、人を噛むくせがあり、リードを放せません。（笑）

長女が産まれて陰が薄くなりつつある二匹ですが、大事な家族なので時間をみつけ可愛がっていきたいです。

いつも、主人の紳也がお世話になってますワン～！今後ともお願いしますワン！



生活介護の近況報告

今年も暑い夏となりました。生活介護では「夏と言えば」・・・企画をたくさん考え楽しんでます。

7月に入ると川遊びと一緒にうなぎ取りに挑みました。竹を取ってきて仕掛けを作り、何度も川に仕掛けに行きました。「取れるといいね、楽しみだね」と、みんなの顔もニコリとしています。残念ながら仕掛けでは採る事はできませんでしたが、何人かの方と川へ釣りに行ったときは見事に釣る事が出来ました。ある方は蛇と間違えたようで怖がってしまいましたが、生き物が好きな方は大喜びでこだまに戻り釣れた報告をした後もしばらくの間離されませんでした。

7月21日には鰻丼を作り挑戦しました。「暑い夏を鰻を食べて乗り切ろう」と企画は盛り上がりました。さばくを見るのは気持ち悪いかもとも考えましたが、それ以上に生命の大切さを感じてもらいたく釣ったうなぎをさばくところからしました。みんな積極的に参加され、おいしいとたくさん食べられました。その日のうちに活動の様子をまとめたうなぎ通信も完成しみなさんに持って帰ってもらうことが出来ました。その通信を別の事業所へ通われ手いる方が自慢そうに持って行かれたとお母さんから

聞きました。

7月23日にはそうめん流しをしました。生活介護の中に2メートル以上の竹を4本つなぎ合わせ10メートルぐらいある大きなそうめん流しの台が完成しました。「すごい

と」「お～」との歓声があがり、水が流れ始めるとさらに大きくなりました。流れてくるのはそうめんだけでなく、パイナップル、

あじ瓜、トマト、きゅうり、枝豆など色んな物が流れます。上手にたくさんすくう方や苦戦されながらも笑顔ですくわれる方など、本当にみんなすごく楽しそうでした。

【井川 樹】

ポレポレの近況報告

夏休みに入り普段に比べてお弁当の注文が少し減ってきましたが、この機会に何か新しい事にチャレンジしてみようと思います。きっとまだまだ沢山出来る事があるのではないのかと思うのです。その中でも7月に入って初めて他の方と配達に向かう利用者さんがおられます。ポレポレには週2回の利用ですが来られるとまず綺麗に野菜市の掃除をされていました。気付かない所も彼女なら綺麗に磨いてくれます。そして野菜を買いに来られるお客様の対応などをして午前中を過ごすのが以前の仕事でした。何カ月かけて電卓での計算もできる様になりました。ゆっくりですが間違える事も少なく数字も書ける様にもなりました。野菜市に来られるお客様の対応など挨拶も人一倍元気のいい挨拶をされるので他に何か出来る事はないかと感じながらもどうしたら良いのか迷ってしまいました。一緒に配達には行けないものかと思ってお母さんにも相談してみましたら即「配達に行って帰ってくるだわ」言ってもらえることができました。彼女も「はい、行きます」と笑顔で答えてくださいました。それから毎週二回配達に行くようになりました。一緒に行く他の利用者さんともとてもいい刺激になったようで、配達先での対応やお弁当を置く所を教えてあげたりお弁当を車に積み込む際は今までは車内で待ってるだけの方が我先にと積み込みをされる様になったり相乗効果はバツグンです。最初はお互いに会話も遠慮がちだったのですが最近での車中は楽しそうな会話と笑いが絶えなくなりました。なんと言っても委託を受けてお弁当を取りに来られる生活介護の利用者さん職員の方にもきちんと並んで挨拶も出来るようにもなりました。厨房にいるパートさんも後ろで並ぶように挨拶をされるまでになっていきました。以前では考えられない事が日々の積み重ねでこんなに変わっていく大事さを感じる毎日です。小さな気づきを大切にすることにより利用者さんの出来ることが増える、そのことによって自信をもって働ける事につながっていくのだと改めて感じました。自信がやりがいとなり、自然とポレポレの中でも笑顔が増えて、職場も良い雰囲気となっています。

【曳野美津代】



ほんそご班 海水浴に行きました

7月の暑い日差しが照りつける7月29日にほんそご班は、通称「ほんそごのプライベートビーチ」と呼んでいる、島根町の海に海水浴に行ってきました。



貯めてあります。なんで前日から水を汲んであるのですか、と聞くと「その日の朝の水だと冷たすぎて体がびっくりするでしょ」という答えでした。さすがです。

車にゆられて40分、とっても静かなプライベートビーチに到着です。着替えはほんそごで済ませてきているのですぐに海へ。冷たい水にちょっとビックリしながらも全員とっても良い笑顔になりました。



少し入っては休憩をして、また入って楽しい一時を終えました。そうそう、ほんそごの海水浴にはスイカを食べるのが恒例になっています。前日から準備してあった、とっても冷たい甘〜いスイカをいただいて今回の海水浴は終わりにしました。

そのまま、タンクの水で体や水着についた砂を落として車に乗り込み、こだまに帰ってお風呂で体を洗っておしまいになりました。身近にこんな海水浴に行ける



毎年の恒例行事なので、事前の準備もバッチリです。海から上がった時に使う体の砂を落とす水も前日からタンクに

少し入っては休憩をして、また入って楽しい一時を終えました。そうそう、ほんそごの海水浴にはスイカを食べるのが恒例に

場所があって本当に有り難いと思っています。

新米ヘルパー奮闘記

毎日、30度を超える気温に「暑いな〜」と思いつつ、夏を感じています。

こんな暑い時期は、私が担当している移動支援ではプールを希望される方が多くなっています。毎回、移動支援でのプールを楽しみにしてくださる利用者の方がいます。プールに行ける日には、とても張り切ってバス停まで向かう利用者さん。

いざ、プールに入ると、身長と水の深さが同じ所もあって、少し怖がる様子も見せていましたが、ヘルパーの腕を掴みながら水中をウォーキングを楽しんでいました。そして、怖がらなくなった時期をみて、ヘルパーが足を持ちバタ足のように動かしてみました。すると最近では、自分で上手にビート板を持ち体を浮かせバタ足ができるようになりました。ほんの少しだけ、ヘルパーは支

えていけば良いところまで上達してきました。



帰りのバスではプールでの疲れからか、体を動かした満足感からか、

うたた寝をしている様子に微笑ましく思え、「楽しかったんだな〜！」とヘルパーの自己満足を感じています。プールを楽しみしてくださる利用者の方に対し、要望にこれからも引き続き答えられたらいいな、と思っています。

夕方の入浴でも、ご機嫌で入れたり自分で洗える場所がふえてきたりすると、自分の事のように嬉しくなります。

ヘルパーになって2年になりますが、毎日が勉強です。利用者の方に、信頼したてもらえるようなヘルパーに1日でも早くなりたいと思っていますので、どうかこれからもご指導くださいね。

【常峰純菜】

伊藤看護師の健康講座



夏の血管は・・・



暑い夏がやって来ました

体の中の水分が奪われると血液の中の水分も奪われてドロドロになり血栓が出来やすくなってしまいます。夏の水分補給は熱中症の予防だけでなく、脳梗塞や心筋梗塞の予防にもとても大切です。

健康な人でも気温が30度になると、わずか10分で血液の流れが悪くなると言われていますから、動脈硬化などで血管の中がドロドロの人はもっと血栓が出来やすいと言えます。心当たりのある人は特に気をつけて下さい。

また、アルコールは利尿作用があり脱水がすすみます。暑くなると、夕方のどをカラカラにして飲むビールは最高！！ですが、体は危険な状態になってしまいますので要注意です。体の7割は水で出来ていて、一日に必要な水分量は約2500mlと言われています。食事から約半分の水分を摂り、残りを直接経口から摂ります。（食事が入らなかった時は、水分をその分多く摂る必要があると言う事ですね）マイボトルを用意してこまめに摂るのはとても良い方法です。冷たすぎる飲み物は胃腸が冷え、体調を崩してしまいます。腸には体全体の6割のリンパ球があつまっているのです、腸が冷えると体の免疫力も低下してしまうので気をつけましょう。

日本には四季があり、その季節でなければ味わえない食べ物や楽しいレジャーがあります。体調に気をつけて、夏しか出来ない事を楽しみたいですね。

【伊藤和枝】

職員の趣味や特技・・・

私は、とりたてて人に話せるような趣味も特技もなく、いたって平凡な人間です。「趣味は？」と聞かれたら「映画鑑賞」とか「旅行」とか気のきいた返事をしたいのですが特に何もありません。

ただ、花は大好きで、特に野に咲く花が好きです。花壇に整然と植えられているのではなく、いつの間にか自然に生えてきたり、季節になると知らない間に奇麗に咲いていたりすると感動です。

雑草にまみれて、つい見逃してしまいそうな花たちを、近くでじっと見てみるととても細かな作りで本当に奇麗です。

華道の流派もなく、ただポンと花瓶に入れただけなので自慢出来るようなものではありませんが、それらの花を少しだけ摘んで花瓶に生けます。

とても誇らしげにみえます。そして『きれいだな～。良く見つけたな～』と自分を誉めています。私が奇麗とおもえばそれで良い、という自己満足の世界です。これを趣味と言えるかな？と思いますが、とっても楽しい時間です。

【伊藤和枝】

